

費用は賃料のみ「ワンコスト・オフィス」

日総ビルディングWIND BASE

新たな賃貸オフィスブランド



日総ビルディング
営業部 執行役員 部長

鈴木 哲氏

している。加えて契約内容も従前と違い、オフィスレンタルに関わる煩わしさや無駄を削ぎ落した「ワンコスト・オフィス」と名付け



▲柔軟に入居者及び企業の働き方に対応

た料金体系(プラン)を用意。

ビル賃貸業やビル開発を手掛ける日総ビルディング(東京都千代田区)は現在、都営地下鉄「白金台」駅から徒歩7分のプラチナ通り沿いにてビル一棟を全面リニューアル。2022年2月末に竣工予定で、3月上旬にはオープン

の計画だ。現在リニューアル中のビルは「WIND BASE S HIROKANE」。同社が新たに企画し、開始する賃貸オフィスのブランド「WIND BASE」を中心に構築される。「WIND BASE」はこれまで同社が展開してきたエキスパートオフィスとは違い、インベーターやデザイン等々のクリエイティブワークを主な利用対象とする。所謂「オフィス街」ではなく、日々の暮らしや職住近接に適した住宅街等での開設を意

『WIND BASE』は都内有数の高級住宅地・白金に開設し、その場所を好んで暮らす人やワーカー、インベーターを中心に利用して頂き、カフェで一息つく・木陰で物思いに耽るといったオフィス街にはない時間が『ビジネス創出を育む』、「クリエイティブティを加速する」、そんな空間になればと思います」と語った。内装も利用者の快適性やリラクセスを意識して、木質の素材や緑を採用。ナチュラルな風合いを見せることで、居心地の良さも表現できた。より周辺地域に暮らすワーカーへの利用、定着に繋がればとのことだ。

けるリビングの役目も果たす。

物件は地上5階地下1階。地上1階と地下1階には店舗が入居し、2・3・4階がオフィスとなる。3・4階のオフィスは個室17区画を中心に、会議室やルーバルコニー、オンラインミーティングにも活用できるWEB会議室等を設けて、柔軟に入居者及び企業の働き方に対応する。また4階には入居者がリラクセスできるオープンラウンジも用意した。くつろぎながらの仕事や休憩も可能で、WIND BASEにおいての自宅におけるリビングの役目も果たす。

日総ビルディングは今回の開設を皮切りに、「WIND BASE」の拠点数を今後増やしていく方針だ。ワンコスト・オフィスも積極的に打ち出すことで差別化を図り、かつ「オフィスはビジネス街にあるもの」という既存概念に捉われず、住宅街や商業エリア、リゾート地等の多



▶都内有数の高級住宅地・白金に開設

向性等も似ていますが、一方新たに始める想定している。